

拠出金名:原子力安全関連拠出金

国際機関等名	欧州復興開発銀行 (英文名称・略称) European Bank for Reconstruction and Development(EBRD)					
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他		
所轄官庁担当局課名	総合外交政策局軍縮不拡散・科学部国際原子力協力室					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外 貨1 (千ドル)	外 貨2 (千)	レ ー ト		
平成17年度	40,492	378		1\$ = 107円	(2005年) 6.19	0
平成16年度	0	0		1\$ = 110円	(2004年) 6.48	-
平成15年度	590,052	4,836		1\$ = 122円	(2003年) 6.20	0
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2004年度決算)		
	国 名	金額(千ユーロ)	率(%)	当該年度の収入 29,345千ユーロ		
1位	米	97,375	15.75	当該年度の支出 52,251千ユーロ		
2位	独	48,086	7.77	次年度への繰越 423,645千ユーロ		
3位	英	47,557	7.69	会計検査機関名		
4位	仏	41,770	6.75	Price Water House Coopers		
5位	日	38,312	6.19	(現在の構成員の出身国:)		
2005年末現在						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
<p>1986年に事故を起こしたチェルノブイリ発電所第4号炉のシェルターの安定化及びこれを覆う新シェルターの建設は、世界の原子力安全及び環境保全の観点から急務の課題。G7の一員である我が国としては、これらのプロジェクトの着実な実施に向け貢献する必要がある。本件プロジェクトの事務局であるEBRDは、中東欧諸国の市場経済への移行の支援や、エネルギー・プロジェクト等を実施し、プロジェクトや基金の運営については豊富な経験を有しており、本件シェルタープロジェクトについても着実に実施していることを評価している。</p>						
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p>						
<p>チェルノブイリシェルター基金は、最小限の人員で効率的に運営されており、我が国としても事務局の努力を評価している。</p>						
邦人職員数	15 人	当該機関の職員数及び		644人		
うち幹部以上	うち 6 人	邦人職員が職員全体にしめる率		2.3%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
総裁上級顧問		日下部 元雄		財務省出身		
中央アジア担当局長		本間 勝		財務省出身		
イクィティ・ファンド局長		関根 かな子				
スモール・ビジネス局長		久野 周子				
マケドニア・スコピエ事務所長		中沢 賢治				
ロシア・サンクトペテルブルグ事務所長		内田 哲也				
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
<p>EBRDは、比較的小規模な国際金融機関であり、定期的採用はないが、EBRD事務局では、日本人職員の採用に努力している。2003年には人事担当が来日し、日本人の応募者に対する面接を実施した。</p>						

(注) 拠出率については、各年末までの我が国拠出額累計の各国プレッジ額に対する割合。